

ダイヘングループ第6期環境自主行動計画 2019年度活動実績

会社目的	ステージ	方針	2019年度目標	2019年度年活動結果	2019年度活動内容	自己評価	関連するSDGs
みんなの幸せ同時達成	マネジメント	環境マネジメントシステム(EMS)の改善	・ISO14001:2015年版の維持、改善	2015年版 認証継続	・内部監査:6月3日~7月23日 ・サーベイランス審査:8月20日~10月10日(12月5日登録継続) ・内部監査員への教育を実施	○	   
		グリーン調達	・お取引先様と環境貢献を拡大するグリーン調達の推進(製品含有化学物質調査回答率アップ)	回答率アップ	・お取引先様へECODUCE回答についての協力を依頼 ・ECODUCE説明会:8月20日(協力会社75名) ・調査回答率:2020年3月末時点87.0%(2019年4月時点29.9%)	○	
		環境リスクの低減	・環境事故ゼロ 環境事故: 自社又は第三者に対し環境(土壌、水質等)に関する損害を与えた事故および自然環境に重大な影響を及ぼした事故	環境事故ゼロ	・全事業所、工場にて緊急事態対応訓練を実施 ・低濃度PCB機器の処理を実施	○	
	プロダクツ	環境配慮製品の創出	・新製品における環境配慮製品認定製品の割合 90%以上	認定率 97.1%	・環境配慮製品:34機種 (配電5、大形3、産電2、溶接13、FA3、プラズマ3、クリーンロボット5)	○	      
		環境配慮製品・事業の拡大	・環境配慮製品事業売上構成比率 70%以上	構成比率 70.7%	・累計環境配慮製品数:スーパーエコ製品22、エコ製品299 ・環境配慮製品売上高:75,617百万円 全製品売上高:106,968百万円	○	
		顧客における価値の創出	・環境配慮(省エネ)製品によるCO2排出5万t/年削減	5.05万t	・対象省エネ製品の拡充(CO2削減貢献量:50,533t)	○	
		再資源化の推進	・再資源化可能率の向上	数値把握	・製品環境影響評価表にて再資源化可能率の数値を把握	○	
	プロセス	地球温暖化防止	・CO2排出量原単位を2018年度比1%削減(事業所・物流)	削減率 6.3%	・生産自動化、効率化 ・LED照明、省エネ機器への更新 ・CO2排出量原単位:0.141t-CO2/百万円(CO2排出量[総量]:20,478t-CO2)	◎	      
		生物多様性保全	・水使用原単位を2018年度比1%削減 ・生物多様性保全の取り組みの推進(事業所毎)	削減率 14.5%	・検査用冷却水循環システムを導入 ・塗装廃水回収設備の運用 ・地域コミュニティ主催の河川清掃活動 ・水使用原単位:0.87m3/百万円(水使用量:126,368m3)	◎	
		廃棄物削減	・廃棄物排出量(有価物を除く)原単位を2018年度比1%削減	削減率 7.6%	・分別の強化、徹底 ・有価物化の推進 ・木屑廃棄量の削減 ・通い箱の使用 ・廃棄物排出量原単位:6.40kg/百万円(廃棄物排出量[有価物除く]:928.0t)	◎	
		大気汚染防止	・PRTR指定化学物質大気排出量原単位を2018年度比1%削減	削減率 8.0%増加	・PRTR対象外洗浄液への変更 ・有機物拡散防止装置の運用 ・PRTR指定化学物質大気排出量原単位:0.75kg/百万円(大気排出量[総量]:109,180kg)	△	